

第三問 次の文章を読んで、後の問に答えよ。

三条の右の大臣、中将にいますかりける時、祭の使にさされていであちたまひけり。通ひたまひける女の、絶えて久しくなりけるに、⁽¹⁾「かかることにてなむいでたつ。扇もたるべかりけるを、さわがしうてなむ忘れにける。ひとつたまへ」といひやりたまへりける。⁽²⁾よしある女なりければ、よくておこせてむと思ひたまひけるに、色などいといと清なる扇の、香などいとかうばしくておこせたる。⁽³⁾ひき返したる裏のはしの方に書きたりける。

〔A〕 ゆゆしとて忌むとも今はかひもあらじ憂きをばこれに思ひ寄せてむとあるを見て、あはれとおぼして、返し、

〔B〕 ゆゆしとて忌みけるものをわがためになしといはぬはたがつらきなり

(『大和物語』による)

〔注〕 ゆゆしとて＝扇は、秋風が吹けば捨てられるものであることから、男女のあいだでとりかわすことを嫌う場合があった。